

## Ⅱ サブWG検討結果：入出港（最終とりまとめ）

2014年12月11日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社





## <目次>

1. Webインターフェースにおける入出港業務
2. 乗員上陸許可支援システムとNACCSの連携改善
3. 照会業務の機能拡充
4. シングルウィンドウ業務における添付業務の仕組みの提供
5. 書類番号の見直し
6. 申請項目、出力情報等の見直し
7. 入出港業務による寄港順序の入替を容易化
8. 第11回WG（中間とりまとめ）の結果報告について

## ▶ 第6次NACCSにおける方針

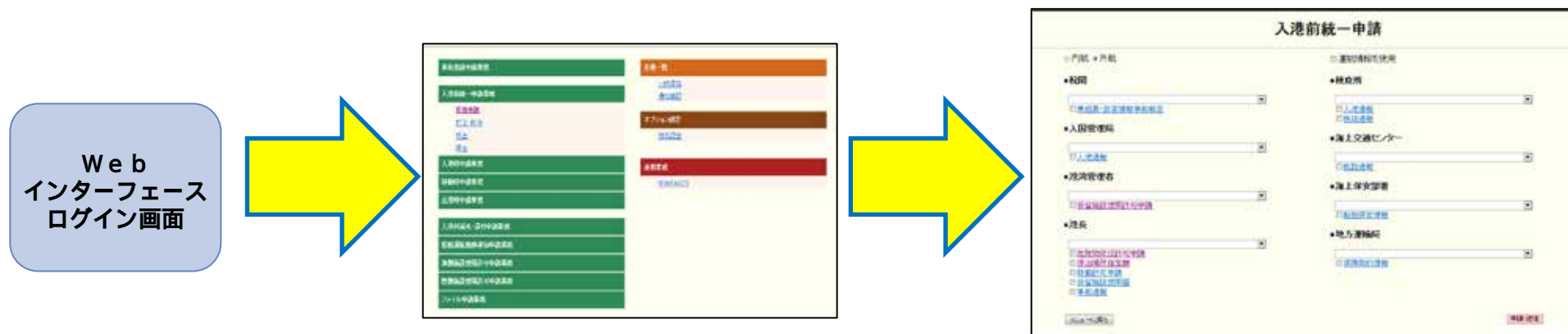
海上入出港業務については、現在はNACCSパッケージソフトにて業務の提供を行う。NACCSパッケージソフトでは、申請の項目数が多いことや、ユーザインターフェースの機能の制約があるため、次期システムでは、NACCSパッケージソフトとは別にWebインターフェースによる提供を行う。

(以下の画面は、Webインターフェース(入出港業務)イメージ)

### Web提供業務(予定)

- ・ 現行内航船業務 (JPT業務等 (J業務))
- ・ 現行外航船業務 (VTX01業務等)
- ・ 港湾管理者業務 (ファイル申請業務等 (K業務))

パッケージソフトでは外航船業務 (A業務)、およびファイル申請業務のみ提供する。



## ▶ 主な機能：一時保存

作成中の申請情報を一時的に保存する機能を提供します。保存したデータは、申請（業務）単位での呼び出しを可能とする。なお、一時保存の保存期間は10日間とする。  
（以下の画面は、一時保存イメージ）

The diagram illustrates the process of saving and retrieving temporary data. On the left, the '係留施設使用許可申請' (Berth Facility Use Permit Application) form is shown. A red box highlights the '保存' (Save) button. A yellow arrow points to the '一時保存一覧' (Temporary Save List) screen on the right. This screen has a search input section and a search results table. A red box highlights the first row of the search results table, which is linked to a callout box explaining the retrieval process.

**係留施設使用許可申請**

戻る 保存 保存して戻る 個別送信

作成中の一時保存をする場合、「保存」を押下する。

**一時保存一覧**

検索条件入力

一時保存番号  (前方一致検索)  
書類番号  (前方一致検索) 書類名称   
船舶コード  区分  内航  外航  
船舶名称  (前方一致検索)  
送信年月日(自)   
送信年月日(至)   
申請状態

リセット 検索

**検索結果**

選択	入港前統一申請番号	書類番号	書類名称	申請状態
<input checked="" type="radio"/>	HM27010000000100	1234511111	危険物荷役許可申請	送信(受信)
<input type="radio"/>	HM27010000000200	1234522222	危険物荷役許可申請	回答(許可)
<input type="radio"/>	HM27010000000300	1234533333	停泊場所指定願	回答(許可)

戻る 削除 呼出

一時保存された情報を検索画面より呼出し、再入力後、送信を行う。

# 1. Web インターフェースにおける入出港業務

## ▶ 主な機能：帳票出力

帳票の提供方法について、画面上でリンク等をクリックすることにより、PDF 化された帳票を出力する。  
(以下の画面は、帳票出力イメージ)

### Web 画面

前寄港地	JPTYO	東京[京浜(東京)]	仕出港	CNSHA	SHANGHAI
次寄港地	SGSIN	SINGAPORE	最終仕出港	ZAAOB	ALGOA BAY
錨泊場所	港	JPKZU	木更津		
	施設	AZ20A	吾妻船だまり		びょう泊日時(至く)
着岸場所	港	JPKZU	木更津		着岸
	施設	AZ10A	吾妻内港泊地		離岸
航海中の異常その他参考事項			乗組員の数	123	旅客
備考	SETLZOKUSHIKEN				内航

積載貨物

形態
ばら荷

添付ファイル

備考
----

返信書封編集 回答履歴 **印刷** 船舶情報 一覧 メニュー

印刷ボタンを押下すると、印刷イメージの画面(PDF)が表示される。

### 印刷プレビュー

入出港届  
GENERAL DECLARATION

提出日：2014-06-06

1. 船舶の種類、船名、船主(船主名) Ship, Type and Name, Owner CONNECT TEST MARI (EPR)一般貨物船(汽機・冷凍船を含む) CONNECT	2. 船舶の所属 Name of ship JPKZU TAMAKI KANU SHIMA	3. 荷役場所/出港地 Port of arrival/destination JPKZU 木更津 JPNR 2014-07-20 00:00 JPNR 2014-07-20 00:00 JPNR 2014-07-20 12:00	4. 船舶の所属/出港地 Name and address of ship's agent SETLZOKUSHIKEN JPNR 2014-07-20 12:00
5. 船主名 Owner 株主数 12 300 株 総資本金 123,456,789 円	6. 船主名 Not owner 船舶の船主/船主の名前 SHIMAZU WAKAYAMA CO. LTD.	7. 船主名 Not owner 船舶の船主/船主の名前 SHIMAZU WAKAYAMA CO. LTD.	8. 船主名 Not owner 船舶の船主/船主の名前 SHIMAZU WAKAYAMA CO. LTD.
9. 乗組員の数 (乗組員名簿) Number of crew (crew list) 123	10. 乗組員名 Name of passengers 224	11. 乗組員 Passenger	12. 乗組員 Passenger
13. 積荷の種類 Description of cargo ばら荷	14. 積荷の種類 Description of cargo ばら荷	15. 積荷の種類 Description of cargo ばら荷	16. 積荷の種類 Description of cargo ばら荷

## ▶ 主な機能：コード検索

関連項目（港コード・施設コード等）の一覧参照ボタンを押下することで、コード検索を容易に行うことが可能となる。

（以下の画面は、コード検索イメージ）

### コード検索対象（予定）

- ・ 国コード一覧
- ・ 港コード一覧
- ・ 船種コード一覧
- ・ 施設コード一覧
- ・ 危険物数量単位コード一覧
- ・ 危険物積付位置コード一覧
- ・ 職名コード一覧
- ・ 保安措置コード一覧
- ・ 保安参考事項コード一覧
- ・ 港内航路一覧
- ・ 海域航路・航路区間一覧
- ・ 通貨単位コード一覧
- ・ 減免・還付理由一覧
- ・ 旅客乗降用施設一覧
- ・ ひき船一覧
- ・ 給水施設一覧
- ・ 荷役機械一覧
- ・ 上屋・荷さばき地・野積場一覧
- ・ コンテナ用電源施設一覧

入港届

一覧参照

AD ANDORRA アンドラ  
AE UNITED ARAB EMIRATES アラブ首長国連邦  
AF AFGHANISTAN アフガニスタン  
AG ANTIGUA AND BARBUDA アンティグア・バーブーダ  
AI ANGUILLA アンギラ  
AL ALBANIA アルバニア  
AM REPUBLIC OF ARMENIA アルメニア  
AN NETHERLANDS ANTILLES Netherlands Antilles  
AO ANGOLA アンゴラ  
AP AZORES アゾレス(群島)  
AQ ANTARCTICA 南極  
AR ARGENTINA アルゼンチン  
AS AMERICAN SAMOA 米国サモア

入港届

一覧参照

JP JAPAN 日本

## 2. 乗員上陸許可支援システムとNACCSの情報連携

### ▶ 現行仕様

入港前統一申請業務は入港前に必要な申請がまとめてできる業務である。しかし法務省（乗員上陸許可支援システム）向けの手続きは入港通報のみが対象であり、「乗員上陸許可申請（CRW03）」業務は入港前統一申請業務と共通の入力項目が多いが別業務で申請する必要がある。

### ▶ 第6次NACCSにおける方針

乗員上陸許可支援システムとの情報連携を行いCRW03業務にて送付している乗員上陸許可申請（近傍上陸、乗換上陸、数次上陸）を、入港前統一申請業務で送信可能となるように、CRW03業務を入港前統一申請業務に統合する。また、統合に伴い入港前統一申請業務に、近傍上陸 / 乗換上陸 / 数次上陸関連項目を追加する。

#### 【変更点1】

対象手続に、「乗員上陸許可申請（近傍上陸 / 乗換上陸 / 数次上陸）」を追加  
チェックが入った場合に限り、乗員上陸許可支援システム向けに申請が送付される。

#### 【変更点3】

入港前統一申請業務等に下記の項目を追加

- ・「船舶運航者名」、「入港港名」
- ・乗員情報関連項目：「身分証明書有効期限」
- ・近傍上陸関連項目：「港コード」、「上陸期間」等
- ・乗換上陸関連項目：「乗り組むべき船舶または航空機」等
- ・数次上陸関連項目：「出発国コード」、「通過経路港コード」等

乗組員情報登録業務等に下記の項目を追加

- ・乗員情報関連項目に「身分証明書有効期限」

#### VPX業務

#### CRW03業務

統合

#### 【変更点2】

乗員上陸許可申請用のタブを追加  
CRW03業務では、三つのタブに分けていたが、VPX業務で項目数が少ないという事もあり、一つのタブにまとめる方向とする。



### ▶ 現行仕様

現行の「入出港届等照会（ I V S ）」業務は、 N A C C S 側の D B の情報を照会しており、「申請状態確認（ J S S ）」業務は、港湾サブシステム側の D B の情報を照会している。そのため、情報を照会する際に二つの業務を行う必要がある。また、乗員上陸許可申請の情報を照会する際には、「届出申請一覧呼出し（ C R W 0 1 ）」業務、および「届出申請情報照会（ C R W 0 2 ）」業務を行う必要がある。

### ▶ 第 6 次 N A C C S における方針

1. J S S 業務、 C R W 0 1 業務、および C R W 0 2 業務を廃止し、 I V S 業務に統合する。
2. 新しい照会種別を新設し、外航船の入港前統一申請、入港届等、出港届等、移動届の申請状態を一覧に出力する。( 8 ページ参照)
3. 申請情報を呼び出す場合、一覧に表示された申請先を押下することにより、呼出し業務を実施できるようにする。( 9 ページ参照)
4. 一覧上で各申請の状況を表示する。なお、入国管理局向けの申請については、乗員上陸許可支援システムにて審査されたステータスを補完し、それ以外の申請については、各官側の業務にて回答された状況を表示する。また、申請の状況については、色を分けて表示させるようにする。( 1 0 ページ参照)
5. W e b インターフェース、パッケージソフト相互の照会を可能とする。ただし、港湾管理者業務・内航船業務はパッケージソフトでの提供が無くなることから、 W e b インターフェースでのみ照会可能とする。

### 3 . 照会業務の機能拡充

IVS業務にて、照会種別「G1：届出申請一覧」を新設する。  
 一覧に表示された申請番号を押下することにより、再度IVS業務にて個別照会ができるようになる。  
 なお、内航船・港湾管理者業務の情報は対象外とする。  
 (以下、画面イメージ)

#### IVS業務

届出/申請番号  
 船舶コード  
 船名  
 照会種別  
 港コード  
 送信年月日(自)  
 送信年月日(至)  
 出入港(予定)年月日

船舶運行情報照会関連  
 A0: 船舶基本情報照会  
 A1: 船舶運航情報照会  
 A2: 乗組員情報照会  
 A3: 積荷情報照会  
 A4: 船荷品情報照会

入港前統一申請照会関連  
 B1: 入港前統一申請照会  
 B2: 入港前統一申請乗組員氏名表照会  
 B3: 入港前統一申請旅客氏名表照会

入港届照会関連  
 C1: 入港届照会  
 C2: 入港届船舶用品目録照会

出港届照会関連  
 D1: 出港届照会  
 D2: 出港届乗組員氏名表照会  
 D3: 出港届乗客氏名表照会

移動届照会  
 E1: 移動届照会

番号照会  
 F1: 入港前統一申請番号・入港届提出番号照会

一覧照会  
 G1: 届出申請一覧

#### 検索条件の追加

IVS・JSS・CRW  
 01より必要と思われる  
 検索条件とする。

- ・船舶コード
- ・船舶名称
- ・港コード
- ・送信年月日(自)
- ・送信年月日(至)
- ・出入港(予定)年月日
- ・申請状態

#### 新規区分追加

G1  
 照会

申請中	港湾管理者	申請番号	提出番号
申請済	入国管理局	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

結果が一覧にて表示される。  
 その際に、番号がリンク形式  
 となっているため、右クリッ  
 クにて業務リンクを選択する  
 と業務リンク機能により、再  
 度IVS業務にて個別照会が  
 実施される。

IVS業務の照会が自動で  
 実施される。なお、対象は  
 A1、B1、C1、D1、E1  
 照会となる。

### 3 . 照会業務の機能拡充

申請情報を呼び出す場合、一覧に表示された申請先を押下することにより、呼出し業務（業務リンク）を実施できるようにする。なお、Webインターフェース（内航船・港湾管理者業務）の情報は対象外とする。  
 （以下、画面イメージ）

#### IVS業務

届出/申請番号   
 船舶コード  船舶名   
 照会種別   
 港コード   
 送信年月日 (自)  送信年月日 (至)   
 出入港 (予定) 年月日

船舶関連情報照会関連  
 A 0 : 船舶基本情報照会  
 A 1 : 船舶運航情報照会  
 A 2 : 乗組員情報照会  
 A 3 : 旅客情報照会  
 A 4 : 船荷高情報照会  
 入港前統一申請照会関連  
 B 1 : 入港前統一申請照会  
 B 2 : 入港前統一申請乗組員氏名表照会  
 B 3 : 入港前統一申請旅客氏名表照会  
 入港届照会関連  
 C 1 : 入港届照会  
 C 2 : 入港届船舶用品目録照会  
 出港届照会関連  
 D 1 : 出港届照会  
 D 2 : 出港届乗組員氏名表照会  
 D 3 : 出港届旅客氏名表照会  
 移動届照会  
 E 1 : 移動届照会  
 番号照会  
 F 1 : 入港前統一申請番号・入港届提出番号照会  
 一覧照会  
 G 1 : 届出申請一覧

G1 照会

申請状況	申請先	申請番号	提出番号
申請中	港湾管理者	XXXXXXXXXX	
申請済	入国管理局	XXXXXXXXXX	
	VPX11		
	VIX11		
	VOX11		

結果が一覧にて表示される。その際に、申請先がリンク形式となっているため、右クリックで業務リンクを開くと、各申請の呼出し業務ができる。

#### VPX11業務

入港届提出番号  XXXXXX  
 届出コード

#### VPX業務

届出番号   
 船舶コード   
 船舶名   
 港コード   
 届出種別   
 送信年月日 (自)  送信年月日 (至)   
 出入港 (予定) 年月日   
 総件数

### 3 . 照会業務の機能拡充

照会業務の照会種別「G1：届出申請一覧」で各申請の状況を表示する。  
 その際、入国管理局向けの申請については、乗員上陸許可支援システムにて審査されたステータスを照会可能とし、  
 それ以外の申請についても、各官側の業務にて回答された状況を表示する。  
 (以下、画面イメージ)

#### IVS業務

届出/申請番号

船舶コード

船名

照会種別\*

港コード

送信年月日(自)

送信年月日(至)

出入港(予定)年月日

船舶関連情報照会関連

A0 : 船舶基本情報照会

A1 : 船舶運航情報照会

A2 : 乗組員情報照会

A3 : 積荷情報照会

A4 : 船用品情報照会

入港前統一申請照会関連

B1 : 入港前統一申請照会

B2 : 入港前統一申請乗組員氏名表照会

B3 : 入港前統一申請旅客氏名表照会

入港届照会関連

C1 : 入港届照会

C2 : 入港届船用品自録照会

出港届照会関連

D1 : 出港届照会

D2 : 出港届乗組員氏名表照会

D3 : 出港届旅客氏名表照会

移動届照会

E1 : 移動届照会

番号照会

F1 : 入港前統一申請番号・入港届提出番号照会

一覧照会

G1 : 届出申請一覧



申請種別	申請種別	申請番号	審査状態
申請中	港湾管理者	XXXXXXXXXX	回答(受理)
申請済	入国管理局	XXXXXXXXXX	審査済

各書類の状況に応じて色を分けて表示する。

## 4 . シングルウィンドウ業務における添付業務の仕組みの提供

### ▶ 現行仕様

シングルウィンドウ入出港手続きにおいて、添付業務である「ファイル申請（KFT）」業務で指定できる宛先は、港湾管理者のみである。

### ▶ 第6次NACCSにおける方針

KFT業務の申請書類へのファイル添付機能で指定できる宛先について、検疫所、地方運輸局を追加する。

現行のKFT業務の提出先である港湾管理者に加え、新たにファイル添付機能が可能となる手続き、および提出先は以下の通りとなる。

手続名	提出先
検疫通報	検疫所
入港通報	検疫所
入港届（明告書を含む）	検疫所
保障契約情報	地方運輸局

## 5 . 書類番号の見直し

### ▶ 現行仕様

現在入出港に係る番号体系については、以下の通りとなっている。  
業務を実施した際に、NACCSで払い出される番号が3種類、書類単位に払い出される番号が複数存在しており、分かりにくい状況となっている。

NACCSで払い出される番号_外航船(11桁) 12345678 9 00 (数字8桁+チェックデジット1桁+訂正時の枝番)	受付番号(16桁) XXXXX 12345678 9 00 (書類ごとの番号+左記のNACCSで払い出された各番号)  (例：係留施設等使用許可申請 PA240 等)	乗員上陸許可支援システムで払い出される番号 届出・申請書類管理番号(15桁)  XXXXXX YY 1234567 (英数字6桁+西暦2桁+数字7桁)
NACCSで払い出される番号_内航船(11桁) J1234567 9 00 (J+数字7桁+チェックデジット1桁+訂正時の枝番)		書類番号(18桁)  XXXXXXXX YYYY MM C 123 (利用者コード+年+月+C+通番)
NACCSで払い出される番号_港湾管理者業務(11桁) K12345678 00 (K+連番数字8桁+訂正時の枝番)		

### ▶ 第6次NACCSにおける方針

民利用者・官利用者側にて統一的な番号をNACCSで払い出すよう変更する。

NACCSにて払い出される番号 <u>外航船・港湾管理者業務(11桁)</u>  12345678 9 00 (数字8桁+チェックデジット1桁+訂正時の枝番)	NACCSにて払い出される番号 <u>内航船業務(11桁)</u>  J1234567 9 00 (J+数字7桁+チェックデジット1桁+訂正時の枝番)
---	---

港湾管理者業務は外航船業務にて払出される番号へ統合する。

## 6 . 申請項目、出力情報等の見直し

### ▶ 現行仕様

現行システムでは、入出港・港湾関連手続業務の画面において、官利用者と民利用者で出力内容やレイアウトが異なる。

### ▶ 第6次NACCSにおける方針

Webインターフェースの入出港・港湾関連手続業務の画面において、民利用者と官利用者で出力内容やレイアウトを合わせる。なお、NACCSパッケージソフトについては、レイアウト変更が難しいことから現行通りとする。また、パッケージソフトで現行控え情報を出力しているものについては、出力を行う。

項番	出力情報名	業務コード
1	係留施設使用許可申請控情報	V P X
2	入港届控情報（港湾管理者）	V I X
3	入出港届控情報（港湾管理者）	V I X
4	出港届控情報（港湾管理者）	V O X
5	係留施設使用届控情報	V P X
6	停泊場所指定願控情報	V P X
7	移動許可申請控情報	V P X

項番	出力情報名	業務コード
8	危険物荷役許可申請控情報	V P X
9	事前通報控情報	V P X, V O X
10	入港届控情報（港長）	V I X
11	入出港届控情報（港長）	V I X
12	出港届控情報（港長）	V O X
13	移動届控情報	V M R

# 7. 入出港業務による寄港順序の入替を容易化

## ▶ 現行仕様

現状、運航情報を訂正する場合は、VTX01に登録されている運航情報を書き換える必要がある。その際には、変更となる寄港順序をすべて書き換える必要があるため、容易に変更ができない状態となっている。

寄港順序が 1<sup>st</sup> (JPTYO) 2<sup>nd</sup> (JPNGO) 3<sup>rd</sup> (JPOSA) の場合

VTX01 船舶運航情報登録

訂正 = (9:登録)  
(5:主情報訂正)  
(4:第一港の訂正「運航情報削除無し」)  
(3:第一港の訂正「運航情報削除有り」)

船舶コード = [TEXTAREA]

船舶情報  
 号出名称  
 船舶電話番号  
 インマルサット電話番号

外国寄港地情報 本邦寄港地情報

本邦寄港地 = JPTYO	機載貨物	形態	FR	2	+	+
港航入港日時	2014/04/19	18:18				
びょうご (予定) 場所 (目)	入港納	日納	2014/04/19	18:18		
岸岸 (予定) 場所 (入港納)	AARTT	日納	2014/04/19	12:00		
出港岸泊場所 (出港納)	AARTT					
離岸 (予定) (出港納)		日納	2014/04/19	02:00		

外国寄港地情報 本邦寄港地情報

本邦寄港地 = JPNGO	機載貨物	形態	FR	2	+	+
港航入港日時	2014/04/19	18:18				
びょうご (予定) 場所 (目)	入港納	日納	2014/04/19	18:18		
岸岸 (予定) 場所 (入港納)	AARTT	日納	2014/04/19	12:00		
出港岸泊場所 (出港納)	AARTT					
離岸 (予定) (出港納)		日納	2014/04/19	02:00		

外国寄港地情報 本邦寄港地情報

本邦寄港地 = JPOSA	機載貨物	形態	FR	2	+	+
港航入港日時	2014/04/19	18:18				
びょうご (予定) 場所 (目)	入港納	日納	2014/04/19	18:18		
岸岸 (予定) 場所 (入港納)	AARTT	日納	2014/04/19	12:00		
出港岸泊場所 (出港納)	AARTT					
離岸 (予定) (出港納)		日納	2014/04/19	02:00		

VTX01業務において、  
 1 欄目に JPTYO を登録。  
 2 欄目に JPNGO を登録。  
 3 欄目に JPOSA を登録。

寄港順序を 1<sup>st</sup> (JPTYO) 2<sup>nd</sup> (JPOSA) 3<sup>rd</sup> (JPNGO) に訂正する場合

VTX01 船舶運航情報登録

訂正 = (9:登録)  
(5:主情報訂正)  
(4:第一港の訂正「運航情報削除無し」)  
(3:第一港の訂正「運航情報削除有り」)

船舶コード = [TEXTAREA]

船舶情報  
 号出名称  
 船舶電話番号  
 インマルサット電話番号

外国寄港地情報 本邦寄港地情報

本邦寄港地 = JPTYO	機載貨物	形態	FR	2	+	+
港航入港日時	2014/04/19	18:18				
びょうご (予定) 場所 (目)	入港納	日納	2014/04/19	18:18		
岸岸 (予定) 場所 (入港納)	AARTT	日納	2014/04/19	12:00		
出港岸泊場所 (出港納)	AARTT					
離岸 (予定) (出港納)		日納	2014/04/19	02:00		

外国寄港地情報 本邦寄港地情報

本邦寄港地 = JPOSA	機載貨物	形態	FR	2	+	+
港航入港日時	2014/04/19	18:18				
びょうご (予定) 場所 (目)	入港納	日納	2014/04/19	18:18		
岸岸 (予定) 場所 (入港納)	AARTT	日納	2014/04/19	12:00		
出港岸泊場所 (出港納)	AARTT					
離岸 (予定) (出港納)		日納	2014/04/19	02:00		

外国寄港地情報 本邦寄港地情報

本邦寄港地 = JPNGO	機載貨物	形態	FR	2	+	+
港航入港日時	2014/04/19	18:18				
びょうご (予定) 場所 (目)	入港納	日納	2014/04/19	18:18		
岸岸 (予定) 場所 (入港納)	AARTT	日納	2014/04/19	12:00		
出港岸泊場所 (出港納)	AARTT					
離岸 (予定) (出港納)		日納	2014/04/19	02:00		

実際の寄港順序と同じ形で、VTX01業務において訂正を行う。  
 1 欄目に JPTYO を登録。  
 2 欄目に JPOSA に訂正。  
 3 欄目に JPNGO に訂正。



# 7. 入出港業務による寄港順序の入替を容易化

## ▶ 第6次NACCSにおける方針

本邦寄港順序を追加し、1から連番に入力することにより船舶運航情報に登録できるようにする。  
 訂正において、寄港地を寄らずに港情報を初期化する場合が想定されるため、途中未入力欄のチェックは行わないものとする。また単一港の訂正は、寄港順序は訂正することが出来ないものとする。

寄港順序が 1<sup>st</sup> (JPTYO) 2<sup>nd</sup> (JPNGO) 3<sup>rd</sup> (JPOSA) の場合

**本邦寄港順序** 1

本邦寄港順序欄を設ける。通常の登録時は、港の順番通りに寄港順序の登録を行う。

寄港順序を 1<sup>st</sup> (JPTYO) 2<sup>nd</sup> (JPOSA) 3<sup>rd</sup> (JPNGO) に訂正する場合

寄港順序を変更したい港について、寄港順序の欄に訂正後の数字を入力することにより、港情報がソートされ登録される。

JPNGOに寄港順序3を、JPOSAに寄港順序2を、入力することにより、JPTYO JPOSA JPNGOに変更される。

## 8. 第11回WG（中間取りまとめ）の結果報告について

第11回WGにおいて、以下の検討事項について中間報告を実施した。

No.	検討事項	現行仕様 / 問題点	検討結果
1	入出港関連手続における呼出し機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶基本情報の登録以降、入港前統一申請～入港届等～出港届等まで、「入港前統一申請（VPX）」、「入港届等（VIX）」、「出港届等（VOX）」業務で登録した情報については、「入港前統一申請B（VPT）」、「入港届等B（VIT）」、「出港届等B（VOT）」業務で呼び出すことができない。</li> <li>VPX業務、VIX業務、VOX業務について呼出し業務がない。</li> </ul>	<p><b>完了</b></p> <p>VPX、VIX、VOX業務等にて、事前に登録した情報の呼び出しを可能とする業務を新設する。</p> <p>Webインターフェースにて「船舶運航情報登録（VTX01）」業務等で登録した情報の呼出しを可能とする。</p> <p>Webインターフェース及びパッケージソフト間で入出港情報の相互呼出しを可能とする。</p> <p>なお、次期においては、VT業務等及びJT業務等はWebインターフェースにより提供する。</p>
2	通知情報の集約	<p>現行システムでは、入出港業務において、NACCSと港湾サブシステム間の連携により、1業務の入力に対して複数の通知情報（処理結果通知、格納通知、受信確認通知）を申請者宛てに出力している。</p> <p>&lt;問題点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NACCSで正常終了しても、他の申請でエラーとなる可能性がある。</li> <li>複数の処理結果通知・格納通知・受信確認通知が返却され、申請結果の確認作業が煩雑になる。</li> <li>港湾サブシステムでエラーとなった場合、エラーの申請のみを訂正・再申請する必要があり、煩雑な運用になっている。</li> </ul>	<p><b>完了</b></p> <p>次期システムでは、港湾サブシステムのDBや業務処理をNACCSに統合することにより、格納通知、受信確認通知を処理結果通知へ集約する。</p>

## 8. 第11回WG（中間取りまとめ）の結果報告について

No.	検討事項	現行仕様 / 問題点	検討結果
3	1船当りの旅客数の拡大	1船舶コードで登録できる旅客数は最大3,000人までしか登録できない。	<b>完了</b> 1船舶コードで登録できる旅客数を8,000人まで可能とするよう変更する。
4	「乗組員情報登録（VTX02）」業務等の入力項目の追加	「乗組員情報登録（VTX02）」業務等に性別を入力する項目がない。	<b>完了</b> VTX02業務等に性別を任意項目として追加するよう変更する。
5	保障契約書番号の桁数拡大	「入港前統一申請（VPX）」業務における保障契約書番号について、20桁を超える入力が出来ない。	<b>完了</b> VPX業務等における保障契約書番号について、桁数を30桁とするよう変更する。
6	保証契約情報の保障限度額における通貨コードの必須化	「入港前統一申請（VPX）」業務等において、保障契約情報の保障限度額単位1,2の通貨コードを任意としている。	<b>完了</b> VPX業務等において、保障契約情報の入力を以下の通り変更する。 ・保障限度額が入力された場合、保障限度額単位を必須とする。 ・保障限度額単位が入力された場合、保障限度額を必須とする。
7	港長と港内管制信号所への同時申請の可能化	「入港前統一申請（VPX）」業務等において、申請先の入力欄が1つしかないため、港長宛と港内管制信号所宛の申請が同時にできない。	<b>完了</b> ・VPX業務等において、港長宛と港内管制信号所宛の申請ができるよう、「港内管制信号所」欄を追加する。 ・前記の変更に伴い、IVS業務に「港内管制信号所」欄を追加する。
8	危険物の作業種別のチェック変更	「入港前統一申請（VPX）」業務等において、危険物荷役許可申請と停泊場所指定願の届出を行う際に「危険物の作業種別」として「LLO：積み込み」を使用する事が出来ない。	<b>完了</b> VPX業務等において、危険物荷役許可申請と停泊場所指定願の届出を行う際に「危険物の作業種別」として「LLO：積み込み」を使用可能とする。

## 8. 第11回WG（中間取りまとめ）の結果報告について

No.	検討事項	現行仕様 / 問題点	検討結果
9	入国管理局宛での乗組員情報におけるマニュアル扱い	「入港前統一申請（VPX）」業務等による入国管理局への入港通報（予備審査情報）の際、乗組員情報処理識別欄について、「システム」と「マニュアル」を選択できるが、入国管理局は「マニュアル」を受け付けていない。	<b>完了</b> VPX業務等による入国管理局への入港通報（予備審査情報）の際、乗組員情報処理識別欄について、「マニュアル」にて送信した場合はエラーとするように変更する。
10	過去申請情報の参照	申請情報について、オンライン保存期間は30日となっている。	<b>完了</b> オンライン保存期間を30日から60日に変更する。
11	外航バース、内航バースチェックの追加	「船舶運航情報登録（VTX01）」業務等において、バースコードを入力する項目に対し、外航バースか内航バースのチェックを行っていないため、出港届提出時にエラーとなる。	<b>完了</b> VTX01業務等において、バースコードを入力する項目に対し、使用可能なバースが入力されているかのチェックを追加する。入力したバースコードが外航バースか、内航バースかを判断し、内外航識別が内航の場合ワーニングとするよう変更する。
12	乗員情報、旅客情報の入力方法の改善	「乗組員情報登録（VTX02）」業務等において、乗員情報や旅客情報の途中行に空欄があると登録できない。	<b>完了</b> VTX02業務等において、乗員情報や旅客情報に対し、途中行に空欄があった場合であってもエラーとせず登録を行う。また、「旅客情報登録（VTX03）」業務において、1,500人を超えたページまたがりの旅客情報の一部を削除した場合は、旅客明細を繰り上げて登録する。
13	次航海における旅客情報や船用品情報が無い場合への対応	「旅客情報登録（VTX03）」業務及び、「船用品情報登録（VTX04）」業務について、削除ができない。	<b>完了</b> VTX03業務、VTX04業務について、削除できるよう変更する。
14	危険物荷役許可情報の英語表記	「入港前統一申請（VPX）」業務等の港長宛の申請に対する回答通知について、回答通知コードに対する内容が一部日本語表記となっている。	<b>完了</b> 港長宛の申請に使用する回答通知コードについて、英語表記となるよう変更する。

## 8. 第11回WG（中間取りまとめ）の結果報告について

No.	検討事項	現行仕様 / 問題点	検討結果
15	<p>事項登録業務（とん税等納付申告 / T P C）の新設の方針</p>	<p>第2回海上輸出入通関・海上物流等（合同）WG（2012.6.21）において提案した、プログラム変更要望に対する対応の一つとして、申請業務のうち事項登録業務の存在しない手続きについて、事項登録業務・確認業務の追加を検討する。 （基本仕様書 -5 新規業務および機能拡充 1.プログラム変更要望に基づく新規業務（2））</p> <p>現状、事項登録業務が存在しない申請業務のうち、事項登録業務・確認業務の追加を検討することとしている手続きは、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 本船・ふ中扱い承認申請（H F C）</li> <li>▶ 輸入マニフェスト通関申告（M I C）</li> <li>▶ 輸出マニフェスト通関申告（M E C）</li> <li>▶ 海上保税運送申告（O L C） 1</li> <li>▶ 輸出自動車情報登録（M O A） 2</li> <li>▶ とん税等納付申告（T P C） 3</li> </ul>	<p><b>完了</b></p> <p>T P C 業務について、事項登録業務・確認業務を追加するメリットが認められないことから、対応はしないこととします。</p>
16	<p>とん税等納付申告（T P C）業務におけるチェック機能の追加</p>	<p>第8回海上輸出入通関・海上物流等（合同）WG（2014.8.28）において提案した、プログラム変更要望対応の検討項目として、「とん税等納付申告（T P C）」業務におけるチェック機能の追加を検討する。</p> <p>&lt; 要望内容 &gt; 申請等を行わなければ、船舶運航者は申告者として認められないにも関わらず、T P C 業務の船舶運航者の欄は必須入力になっていないため、事前申請を行わなくてもそのまま税関に対して送信できてしまう。</p> <p>船舶運航者コードを入力した際に「事前申請が必要である」旨のワーニング表示が出るようにしてほしい。</p> <p>T P C 業務画面で事前申請の有無を入力できる欄を追加し、事前申請をしていない状況で船舶運航者コードを入力した際にエラー表示が出るようにしてほしい。</p>	<p><b>完了</b></p> <p>T P C 業務における入力チェックを変更する。</p> <p>入力項目に「特別納税義務者の有無」の入力欄を追加する。 「入力項目 / 0 : 無し、1 : 有り」</p> <p>特別納税義務者である場合、船舶運航者の入力を必須とする。</p>

## 8. 第11回WG（中間取りまとめ）の結果報告について

No.	検討事項	現行仕様 / 問題点	検討結果
17	CPC業務における船舶基本情報と純トン数との一致	<p>第8回海上輸出入通関・海上物流等（合同）WG（2014.8.28）において提案した、プログラム変更要望対応の検討項目として、「不開港出入許可申請（CPC）」業務における船舶基本情報と純トン数とのチェック機能の追加を検討する。</p> <p>&lt; 要望内容 &gt;            CPC業務において、送信前に確認画面において入力内容を確認出来るようにしてほしい。</p> <p>純トン数と船舶DBに相違がある場合は、エラー（送信しない）としてほしい。</p>	<p><b>完了</b></p> <p>CPC業務において、入力された純トン数が、「船舶基本情報登録（VBX）」業務等で登録された純トン数と同一でない場合、エラーとするよう変更する。            については の対応で要望が改善される。</p>
18	船舶コードのIMO番号への変更	<p>船舶を特定するコードについて、現状の信号符字等による特定から、IMO番号による特定を行うように見直しを行う。</p>	<p><b>完了</b></p> <p>IMO番号を主キーとすることとせず、現行同様に主キーを信号符字等とする。</p>
19	1船舶あたりの運航情報件数の拡大	<p>現在運航情報については、船舶単位に一つのみ保持することができる。ただし、短期間で複数の航海を行う船にとっては、前航海が終わる前に次の運航情報を登録しなくてはならないが、システムではできない状態となっている。</p>	<p><b>完了</b></p> <p>運航情報を「船舶運航情報登録（VTX01）」業務にて複数登録できるよう変更する。その際に、入力した航海番号単位に運航情報が作成される。            「入港前統一申請（VPX）」、「入港届等（VIX）」、「出港届等（VOX）」業務を実行する場合は、使用したい運航情報に登録した航海番号を入力する。            航海番号については、システムで払い出すものではなく運用にて使用しているものを登録する。</p>